

# 2024年3月期第3四半期 連結業績概要

(2023年4月1日から2023年12月31日まで)

2024年2月8日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)

## 2024年3月期第3四半期連結業績概況

- 前年同四半期比 増収増益。売上高1,669億2百万円（10.7%増）、営業利益108億43百万円（50.6%増）。売上高は同四半期過去最高を記録
- 第3四半期は受注、売上が順調に拡大し、利益も大きく改善。日本、南アジア、米州・欧州で増収。売上高の増加と採算性の改善が寄与し大幅な増益を確保
- 受注高は1,784億86百万円(19.7%増)。日本で新設、モダニゼーションが好調で価格転嫁も寄与し、保守も堅調。東アジアは中国で新設事業が減少となるも香港で増加。南アジアは新設・アフターマーケット事業が好調。米州・欧州はアフターマーケット事業が全地域で増加

## 2024年3月期の業績予想

- 連結業績は、売上高、利益ともに上方修正。売上高2,300億円、営業利益145億円を想定。売上高、営業利益ともに過去最高。

## 新中期経営計画の策定方針を発表

- 2024年度を初年度とする「不易流行」をビジョンに掲げる新中期経営計画の策定について公表

### トピックス

- 「不易流行に基づく、新しいフジテック経営のあり方」に関するショートムービー「Move ON.」を公開



- 当社として初めてとなる統合報告書を日本語と英語で発行



## 2024年3月期第3四半期連結業績概況

# 第3四半期 連結業績ハイライト

- 前年同四半期比で増収増益。売上高は同四半期過去最高を記録
- 経常利益は金利上昇による受取利息の増加、純利益は連結子会社の固定資産売却益等で増加

(単位：百万円)

	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	前年同四半期増減(%)
売上高	150,755	166,902	10.7
国内	53,579	61,266	14.3
海外	97,176	105,635	8.7
営業利益	7,201	10,843	50.6
経常利益	9,371	14,443	54.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,084	15,681	208.4
1株当たり四半期純利益	64.04円	201.02円	—

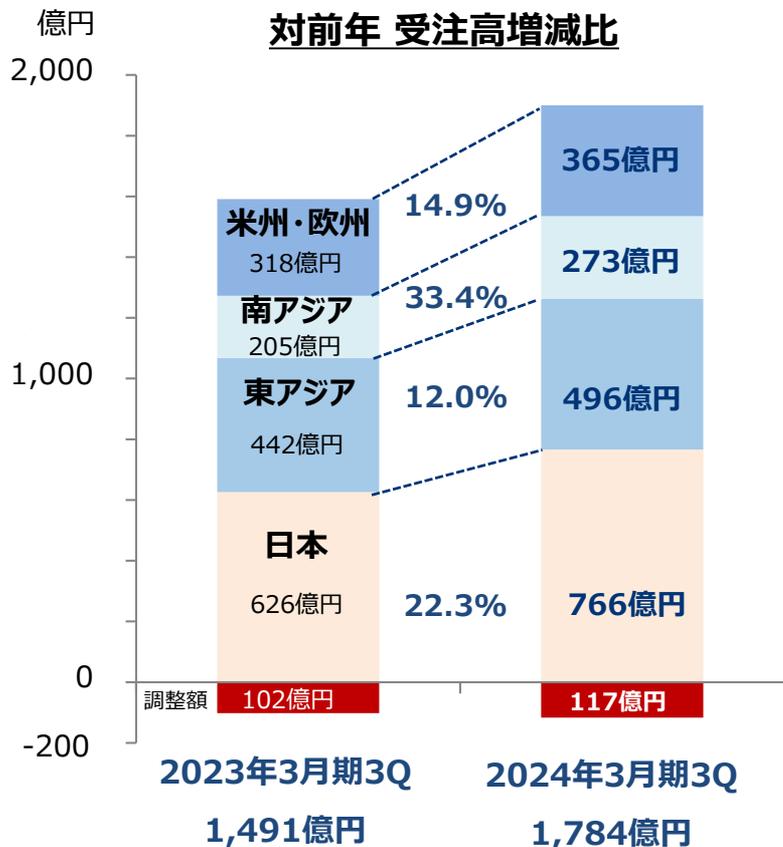
対米ドル円為替レート

126.15円

137.68円

# 第3四半期 受注高実績

- 前年同四半期比 19.7%増
- 国内は、大幅に増加。海外は、東アジアの新設事業を除き、新設・アフターマーケット事業が好調



- 国内**
- **新設事業**
    - 好調な市況に加えて、原材料費・物流費の高騰を反映した価格転嫁等の効果を背景に大幅に増加
  - **アフターマーケット事業**
    - モダンゼーション工事は、好調な市況に加えて、価格転嫁が進み増加
    - 修理工事や高い契約率を維持する保守は引き続き堅調に推移

- 海外**
- **新設事業**
    - 東アジアは、香港で増加し、中国で不動産不況の影響で減少
    - 南アジアは、シンガポール、インドで増加
    - 米州・欧州は、アルゼンチンで増加
  - **アフターマーケット事業**
    - シンガポールでモダンゼーション工事が増加
    - 米州・欧州は、全地域で増加

グラフ内の数値：受注金額

# 第3四半期 セグメント別業績ハイライト

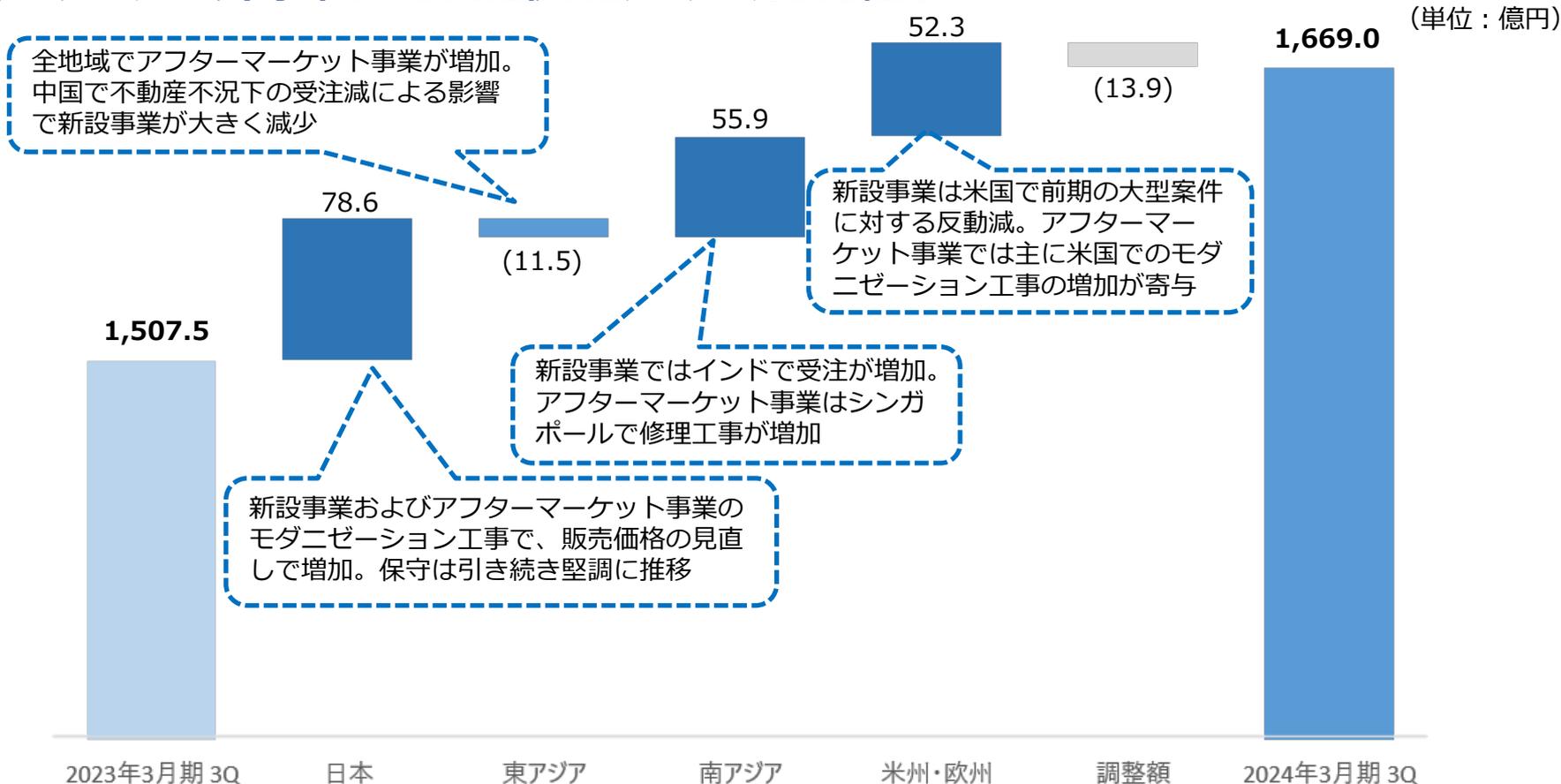
- 売上高は、日本、南アジア、米州・欧州で増収。東アジアでは中国の不動産不況が影響し鈍化
- 営業利益は、日本、南アジアで好調な売上と収益性改善等により増益。日本では大幅に改善し、米州・欧州は、カナダでの採算低下の影響で減益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益または営業損失		
	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減率(%)	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減額
日 本	55,489	<b>63,357</b>	14.2	△31	<b>4,041</b>	4,072
東 ア ジ ア	60,823	<b>59,670</b>	△1.9	3,398	<b>1,596</b>	△1,802
南 ア ジ ア	17,133	<b>22,724</b>	32.6	2,848	<b>4,397</b>	1,548
米 州 ・ 欧 州	26,884	<b>32,115</b>	19.5	1,120	<b>960</b>	△160
小 計	160,331	<b>177,867</b>	10.9	7,337	<b>10,995</b>	3,658
調 整 額	△9,575	△ <b>10,965</b>	—	△135	△ <b>152</b>	△16
合 計	150,755	<b>166,902</b>	10.7	7,201	<b>10,843</b>	3,642

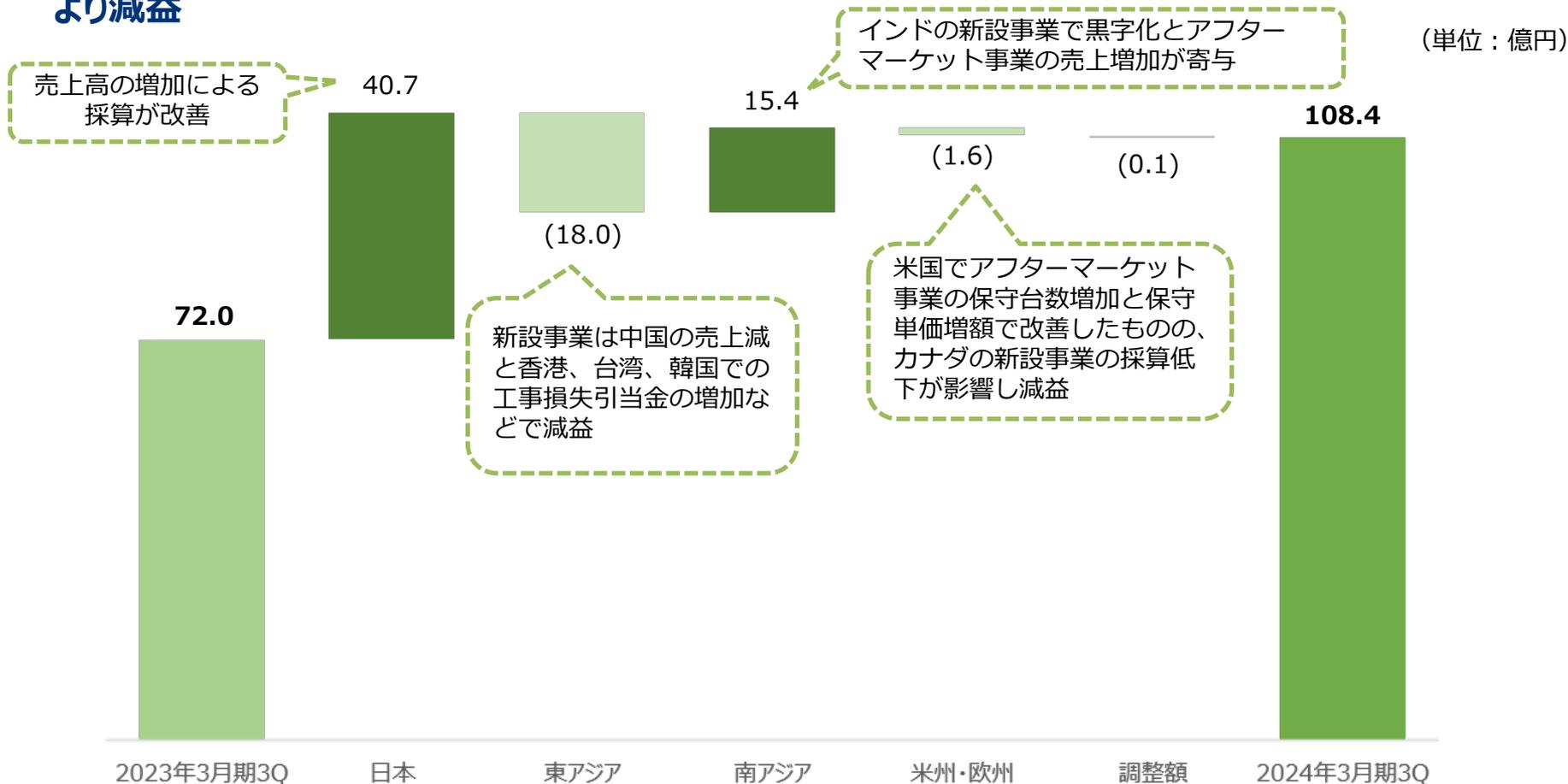
# 第3四半期 売上高ブレークダウン

- 日本で新設事業、アフターマーケット事業ともに販売価格の見直しが寄与。東アジア・米州・欧州は、アフターマーケット事業が堅調に推移。南アジアは好調を維持



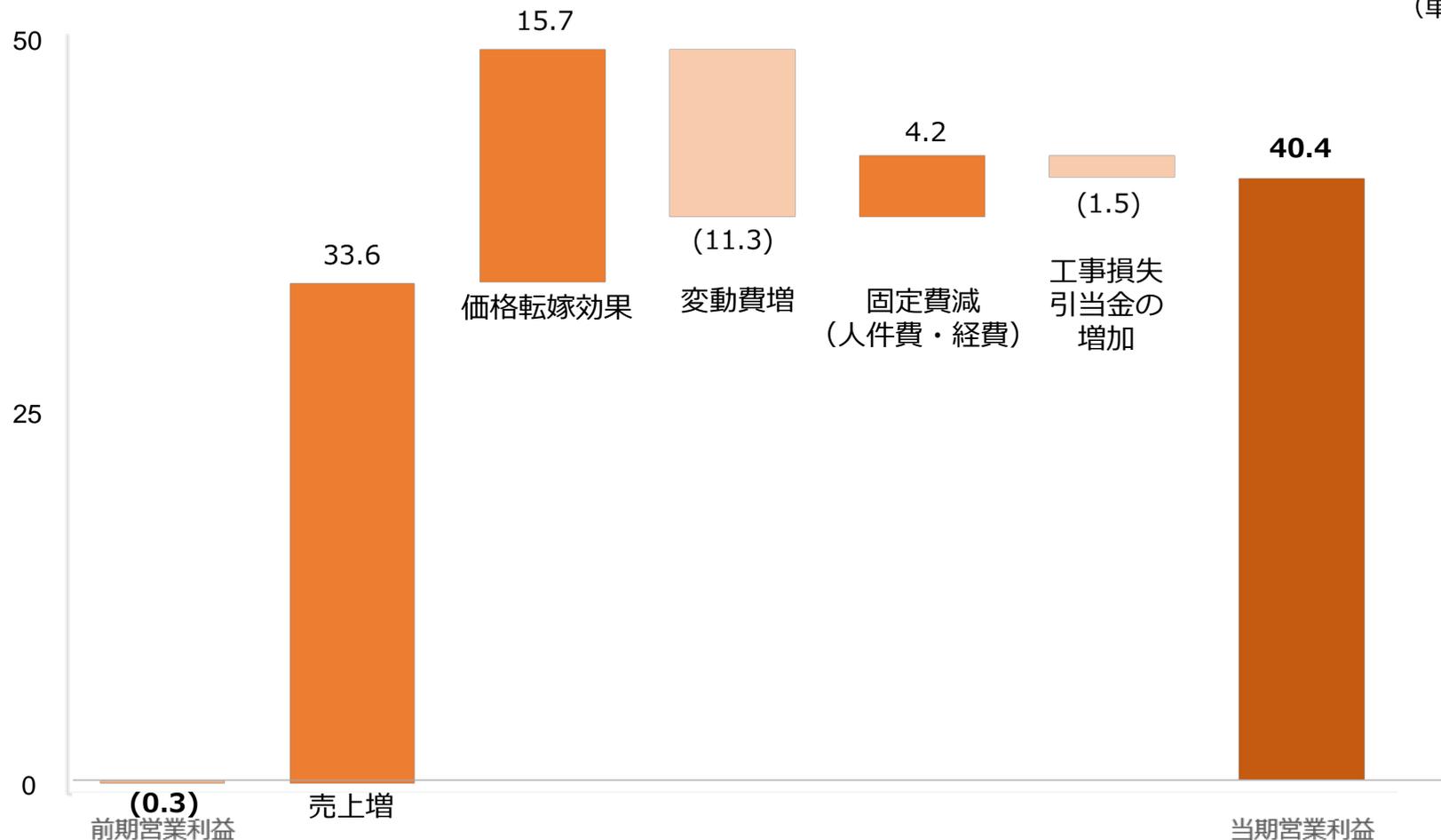
# 第3四半期 営業利益ブレイクダウン

- 日本、南アジアで、売上高の増加と採算性の改善が寄与し増益。米州・欧州は、カナダで採算低下により減益



# 第3四半期 営業利益要因分析 (国内)

(単位：億円)



# 今期の業績予想を上方修正

- 連結業績は、売上高、利益ともに上方修正
- 修正理由) 売上高は日本でのモダンゼーション工事、南アジアでインドの新設事業、米州・欧州で米国の新設事業・モダンゼーション工事の増加によるため。営業利益は、日本で販売価格改定を含む採算改善、南アジアではインドで新設事業の採算改善によるため

(単位：百万円)

	2024年3月期		増減率(%) (前回公表比)	2023年3月期 (参考)
	前回発表予想	今回修正予想		
売上高	226,000	230,000	1.8	207,589
営業利益	13,800	14,500	5.1	11,619
経常利益	15,500	18,500	19.4	13,332
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,600	17,900	14.7	8,433
1株当たり当期純利益	200.02円	229.40円	—	106.67円
対米ドル円為替レート	130.00円	140.44円		130.61円

# セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回発表予想	今回修正予想	増減率(%)	前回発表予想	今回修正予想	増減額
日 本	85,000	<b>88,000</b>	3.5	3,400	<b>6,300</b>	2,900
東 ア ジ ア	86,000	<b>79,000</b>	△8.1	4,500	<b>1,700</b>	△2,800
南 ア ジ ア	27,000	<b>31,000</b>	14.8	3,900	<b>5,000</b>	1,100
米州・欧州	41,000	<b>47,000</b>	14.6	2,100	<b>1,700</b>	△400
小 計	239,000	<b>245,000</b>	2.5	13,900	<b>14,700</b>	800
調 整 額	△13,000	<b>△15,000</b>	—	△100	<b>△200</b>	△100
合 計	226,000	<b>230,000</b>	1.8	13,800	<b>14,500</b>	700

## 新中期経営計画の策定方針を公表

- 中期経営計画“Vision24”を見直し、2024年度を初年度とする「不易流行」をビジョンに掲げる新中期経営計画を策定することを取締役会で決議
- 「『不易流行』の精神で新生フジテックとしてエクセレントカンパニーへ進化すること」をビジョンとして掲げ、株主価値の最大化に向けて、持続的な成長と、グローバルの競合他社に引けを取らない収益性の達成に最優先で取り組む
- 新中期経営計画の詳細は、2024年5月の決算発表と同時の公表を想定

## 「統合報告書2023」を発行



- 株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに向けて、当社として初めてとなる統合報告書を日本語と英語で発行



「統合報告書2023」  
日本語版

## ショートムービー「Move ON.」を公開

- 9月19日の社長就任会見で発表した「不易流行に基づく、新しいフジテック経営のあり方\*」に関するショートムービー「Move ON.」を公開。今後も全てのステークホルダーの皆さまとともに、当社の経営理念の実現を果たすためにオールフジテック一丸となって取り組む



「Move ON.」  
動画

\*「不易（変えないもの）」として「安全・安心」の追求、「品質重視」、「人材の育成」、そして「流行（変えるもの）」として、ビジネスの「選択と集中」、「グループ経営の強化」、「ガバナンスとコミュニケーションの充実」を挙げる

## エレベータとロボットとの連携

- 業務効率化とロボット連携技術の追求を目的に、本社（滋賀県彦根市）と生産拠点（兵庫県豊岡市）で、ロボットによる自動配送を開始。ロボットがエレベータを使い、自律的に階の異なるフロアへ移動し、書類集配や工場の部品運搬を行う

参 考 情 報

# 連結貸借対照表

FUJITEC

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減額	備考
流動資産	159,132	189,656	30,523	
現金及び預金	58,297	79,766	21,469	日本、東アジア、南アジア(長期定期預金からの振替+8,056を含む)で増加
受取手形、売掛金及び契約資産	75,545	83,559	8,014	日本、米州・欧州での増加
棚卸資産	20,654	23,314	2,659	東アジア、南アジアでの増加
その他	7,771	6,769	△1,001	
貸倒引当金	△3,135	△3,754	△618	
固定資産	70,965	65,135	△5,830	
有形固定資産	38,506	39,324	817	設備投資+2,596 減価償却△2,979 為替ほか+1,200
無形固定資産	5,406	5,684	277	
投資その他の資産	27,052	20,126	△6,926	長期定期預金の現金及び預金への振替による減少△8,056 株価上昇に伴う投資有価証券の増加+1,689
総資産	230,098	254,791	24,693	
流動負債	79,888	83,212	3,324	工事損失引当金+1,617 支払手形及び買掛金+1,115
固定負債	6,092	6,204	112	
純資産	144,117	165,374	21,256	利益剰余金+9,829 為替換算調整勘定+8,562 非支配株主持分+1,385 その他有価証券評価差額金+1,232
自己資本比率	55.6%	58.0%	2.4pt	
B P S	1,640.29円	1,893.72円	253.43円	

## 新設工事

受注



**Waterstones  
(インド)**  
エレベータ31台・エスカレータ2台

受注



**Fitz Roy 851  
(アルゼンチン)**  
エレベータ19台

**日清食品ホールディングス  
東京本社  
(日本・東京)**  
エレベータ5台

## モダニゼーション工事

完成



完成



**Three Garden Road  
(香港)**  
エレベータ44台



社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月（創業75周年） （1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行）
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数78,900,000株）
役員	代表取締役社長 原田 政佳 取締役：9名（うち社外6名） 監査役：4名（うち社外2名）
従業員数	連結 11,518名（単独 3,249名）
関係会社	40社（内、連結子会社24社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2024年2月8日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2024年2月8日

# フジテック株式会社

2024年3月期第3四半期 連結業績概要

